事業名						事務:	事業マネジ	ジメントシー	· <b>卜</b>	(令和6	分	度宝施	分)				
所管局 教育委員会 所管書 改理後亡とも育成語 別選後ととも育成語 別選後ととも育成語 別選後ととしている。		± 414. At	放課後児童クラブ	 事業		<del>7</del> 10	<u> </u>										
機動操作 昭和4年度		<b>事</b> 耒名						かぎっ	子文	策として教	育	委員会にお	ハて昭和4	1年度に事業開	台。現在は児童	福祉法に基づ	づき、対象児童
服治を育 30年の1年度		所管局	教育委員会		所管課	放課後こと	も育成課	背に通り	リなり ・セル	ないと生活の	の場 <del>本</del> -	易を提供する ての恵立支援	ための放	課後児童健全育 L ている	成事業として「	5内141小学校	での敷地内で実
東京田東   東京田東東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東東   東京田東   東京田東東東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東   東京田東東東東東東東東東東	村	<b>艮拠法令</b>				<b>⊱例、放課後児</b> 童	<b>童健全育成事業</b> (	の  景   <sup>肥しし</sup>	. 63 Y	、仕事と丁	Ħ	CU/叫 <u>北</u> 又加	हा⊂एन⊤	C (0.0°			
無理のを対象として行うのか ・			昭和41年度	行政計画	9 第5次福岡	市子ども総合	計画										
実施者が労働等のために昼間家庭にいない児童																	
対象をどのような状態にしたいのか					/				5策	を踏まえ、目	目的	達成に向け	て主にど	のような方	成とのような	状態になった	ら事業を見直し
内	~1	保護者から	牙働寺のために昼1	前家庭にい	ない児里				+ +		L	かた 十 垣 旦	佐(人司)		果厂ペリノタで		4. 4. 4. 4. 4. 1、 マル、
対象をどのような状態に上にいのか						内								F及仕用戦     れる校区ご			
日本の		対象などの	)トンか状能にしたし	<u>ነ</u> ለው ተነ		容	との運営委員	会に委託し、坩	也域化	主民も補助え	支抗	爰員として運		するなど、	直┃す場の提信	は今後も必要	更であるため、
で受け入れる。   で受け入れる。   で受け入れる。   でで使いた正動を行うのか   であるのか   であるのが   であるのか   であるのが   であるのか   であるのか   であるのか   であるのか   であるのか   であるのが   であるのが   であるのが   であるのが   であるのか   であるのか   であるのか   であるのか   であるのが   であるのが					数地内の安全な	環境 事	地域ぐるみで	子どもを見守る	体制	削となってい - z t- は、±	いる。 - F型	。 吕笙去拼号!	+- ++-	Xサキレル		売は必須である	5.
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	1 <b>3</b>	下で受ける	しれる。			業	〇利用児里数  等が見込まれ	の増加寺に対	ルじり ハて、	専用施設(	が表の素	貝守で増貝し 各備を行った	ンに。また。 。	、状のいに			
Tu	目			が創造性の	向上と基本的な	生活 手	"	<b>3</b> - 1,5 1,7	- '	77110000	_	_			基		
(光んな活動を行うのか) ・利用児童数の増加に対し、施設整備等(余符教室の活用、専用施設の整備等)を行う。 ・必要な機関等を確するととは、研修等により資質の向上を図る。 ・遊切な人員により、より質の高い育成支援が行われる。 ・遊切するとともに、必要な指導や制度改善の検討等を行う。 ・遊切するとともに、必要な指導や制度改善の検討等を行う。 ・遊切するとともに、必要な指導や制度改善の検討等を行う。 ・ 事業の趣旨を踏まえた、適切な運営が行われる。 ・事業の趣旨を踏まえた、適切な運営が行われる。 ・事業の力の運営が用滑に行われ、職員の担格を得ることができ、生活習慣等が身に付く。 ・の検討を構造が身に付く。 ・の様と育皮が図られる。 ・児童は、家庭に代わる生活の場を得ることができ、生活習慣等が身に付く。 ・の様と確とするともに、研修表記を研究が見いた性により、子どもを見守る環境が関係を設定ができ、生活習慣等が身に付く。 ・の様と前に、家庭に作わる。 ・児童を得ることができ、生活習慣等が身に付く。 ・の様と確とするともい。・現底と対話と様と設定ができ、生活習慣等が身に付く。 ・の様と対と減らなどは、実験を得ることができ、生活習の体を検えるとかでき、生活習の情報が身に対した。 ・現まは、家庭に代わる。・児童を付い、現場により、子どもを見守る環境が関係を設定ができ、生活習の情報を構造が関係を設定ができ、生活習の情報を構造が関係を設定ができ、生活習の情報を構造が関係を設定ができ、生活習の情報を構造が関係を設定ができ、生活習信等が身に付く。 ・の様と対を検に表記し、家庭に作うれた、職員の担格を表できる。・児童になりを得ることができ、生活習の情報を得ることができ、生活習の情報が関係を構造ととのでき、生活習の情報が見いた。 ・現まは、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。 ・児童は、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。 ・児童は、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。 ・児童は、家庭に作うなともに、研究を書いが表した。 ・現まは、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。・児童は、家庭に作うなともを見ずいでき、生活習の情報を得るととができ、生活習のもでき、との、との様とは、などでき、生活習のは、などのないのは、などのは、などのは、などのは、などのでき、との、との、とのは、などのは、などのは、などのでき、との、とのは、などのは、などのは、などのは、などのは、などのは、などのは、などのは、など	的	首便の唯立	42回る。												準		
(光んな活動を行うのか) ・利用児童数の増加に対し、施設整備等(余符教室の活用、専用施設の整備等)を行う。 ・必要な機関等を確するととは、研修等により資質の向上を図る。 ・遊切な人員により、より質の高い育成支援が行われる。 ・遊切するとともに、必要な指導や制度改善の検討等を行う。 ・遊切するとともに、必要な指導や制度改善の検討等を行う。 ・遊切するとともに、必要な指導や制度改善の検討等を行う。 ・ 事業の趣旨を踏まえた、適切な運営が行われる。 ・事業の趣旨を踏まえた、適切な運営が行われる。 ・事業の力の運営が用滑に行われ、職員の担格を得ることができ、生活習慣等が身に付く。 ・の検討を構造が身に付く。 ・の様と育皮が図られる。 ・児童は、家庭に代わる生活の場を得ることができ、生活習慣等が身に付く。 ・の様と確とするともに、研修表記を研究が見いた性により、子どもを見守る環境が関係を設定ができ、生活習慣等が身に付く。 ・の様と前に、家庭に作わる。 ・児童を得ることができ、生活習慣等が身に付く。 ・の様と確とするともい。・現底と対話と様と設定ができ、生活習慣等が身に付く。 ・の様と対と減らなどは、実験を得ることができ、生活習の体を検えるとかでき、生活習の情報が身に対した。 ・現まは、家庭に代わる。・児童を付い、現場により、子どもを見守る環境が関係を設定ができ、生活習の情報を構造が関係を設定ができ、生活習の情報を構造が関係を設定ができ、生活習の情報を構造が関係を設定ができ、生活習の情報を構造が関係を設定ができ、生活習信等が身に付く。 ・の様と対を検に表記し、家庭に作うれた、職員の担格を表できる。・児童になりを得ることができ、生活習の情報を得ることができ、生活習の情報が関係を構造ととのでき、生活習の情報が見いた。 ・現まは、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。 ・児童は、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。 ・児童は、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。 ・児童は、家庭に作うなともに、研究を書いが表した。 ・現まは、家庭に代わる。・児童は、家庭に代わる。・児童は、家庭に作うなともを見ずいでき、生活習の情報を得るととができ、生活習のもでき、との、との様とは、などでき、生活習のは、などのないのは、などのは、などのは、などのは、などのでき、との、との、とのは、などのは、などのは、などのでき、との、とのは、などのは、などのは、などのは、などのは、などのは、などのは、などのは、など															$\sim$		
(法動の結果、どうなるのか) ・利用児童数の増加に対し、施設整備等(余裕 教室の活用、専用施設の整備等)を行う。 ・必要な職員等を確保するとともに、研修等により流質の向上を図る。 ・巡回等により各放課児童クラブの運営状況を確認するとともに、必要な指導や制度改善の ・※回等により各放課児童クラブの運営状況を確認するとともに、必要な指導や制度改善の ・推標の内容 ※2種果アがアルに対応に、必要な指導や制度改善の 指標の内容 ※2種果アルアルに対応した指標を含さる。 ・選回等により各放課児童クラブの運営状況を確認するとともに、必要な指導や制度改善の ・事業の趣旨を踏まえた、適切な運営が行われる。 ・事業の趣旨を踏まえた、適切な運営が行われる。 ・事業の趣旨を踏まえた、適切な運営が行われる。 ・企業の内臓により、子どもを見守る環境ができる。 ・・放課児童クラブの運営が円滑に行われ、職員の負担が軽減される。 ・放課児童クラブの運営が円滑に行われ、職員の負担が軽減される。 ・放課児童クラブの運営が円滑に行われ、職員の負担が軽減される。 ・ 海標の内容 ※2種果アルアルに対応した指標を設定 日標 6 6 6 R 年度 の指標を設定 日標 6 6 R 年度		ジックモ	デル・指標の達	成度】													
・利用児童教の増加に対し、施設整備等(余裕教室の活用、専用施設の整備等)を行う。   ・必要な職員等を確保するとともに、研修等により後放課児童クラブの運営状況を確認するとともに、必要な指導や制度改善のとう。   ・適回等により各放課児童クラブの運営状況を確認するとともに、必要な指導や制度改善のとう。   ・事業の趣旨を踏まえた、適切な運営が行われる。   ・事を記録ともに、必要な指導や制度改善の表現ともに、必要な指導や制度改善の負担が経滅される。   ・表は関係等が内場に行われ、職員の担か経滅される。   ・表は関係が関係により、子どもを見守る環境が関係により、子どもを見守る環境ができる。   ・児童のの変を育みのよして労働等に専えことが、保護者や地域により、子どもを見守る環境ができる。   ・児童のの変を引きる。  ・児童の健全育成が図られる。   ・児童の健全育のが見られる。  ・児童の健全育なが内滑らに対し、   ・表は関係を減まれる。   ・表は関のとは、表は、表は、関係を確認を対しまる。   ・記述の理解を持ったが、ともに、の意を指しまる。   ・児童の健全育なが内滑に対し、   ・ともに、のを表は、ともに、の意を表しまる。   ・児童の健全育なが内滑に対し、   ・ともに、のを表は、表は、ともに、の意は、の意は、ともに、の意は、ともに、の意は、ともに、の意は、の意は、ともに、の意は、の意は、の意は、の意は、の意は、の意は、の意は、の意は、の意は、の意は								- 1· N		/	_,						
数室の活用、専用施設の整備等)を行う。 ・・必要な職員等を確保するとともに、研修等により資質の向上を図る。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		.利田旧帝			(全数 )				١.								なるのか)
必要な職員等を確保するとともに、研修等により含質の向上を図る。							ひ女なへへー	ヘル・雅 休○	I								<b>5</b> 。
□ ※回等により各放課児童クラブの運営状況を		・必要な職	員等を確保するとと		- t-t- 1		より、より質の	高い育成支	IB	<ul><li>児童は、</li></ul>	家原	年に代わる生	≦活の場を	得ることが	•保護者や地域		
確認するとともに、必要な指導や制度改善の われる。				ラブの運営				_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	۱Ţ						境ができる。		
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学					兼ω   <b>      </b>   <sup>*</sup>		踏まえた、適ち	別な連営が行	1				11/81011	1710、収良			
************************************		検討等を行	ゔう。		124	しる。											
上	クエ															-	1
上	デ				R5年度	R6年度	R7年度	-5014 1 154						R5年度	R6年度	R7年度	
「たっしい   「大き   「   「大き   「	ル	新			6	6		R 年度	指	全ての対象	多归	音を受 λ					R 年度
提		の  施設の	・整備件数		4	8	_	_	標							_	_
実績   達成率   上   上   上   上   上   上   上   上   上		指			66.7%	133.3%		D	Ĭĸ					100.0%	100.0%		D 4-4
達成率		[条]						K 年度	P								R 年度
基本計画(政策推進プラン)         事業区分       重点         施策コード       主       1-7-2       施策         再       一       成の子をもつ保護者の割合)       令和6年度目標値:75%       様に財源       4,778,070         分野別目標       一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている       果																	
事業区分 重点									$\sim$	1	_		连队平				
施策コード 主 1-7-2	_	- 41k / \					<b>+</b>				Ļ	<u> </u>	***				
施策コード	4	<b>事業区分</b>						こと感じる、高格	姓		节			観)		4 770 070	
<b>分野別日標</b> 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている <b>果</b> 1 247 716	施	策コード		- <i>1</i> -2	<b>策</b>  以7	の子をもつ保	護者の割合)					44.4					
▲ 分野加口標 Iー人ひとりか心豊かに暮らし、元気に輝いている I本 I 1.247.716 I						3和6年度目標	#値:75%					~~					
指	分				指						٠.	/3^		· 年 坛		1,247,716	
一					標						刖					7	
事業群放課後等における居場所の充実一年度R5R7行政運営プラン歳出3,921,7476,395,716		尹耒矸		店场所の		٠,						<u> </u>					

特定財源

一般財源

2,976,260

945,487

4,119,382

2,276,334

取組方針

					事務事	<b>事業マネジ</b>	メントシー	- -	(令和6	6年度実施	分)				
	事業名	学力パワーアップ	『総合推進』	事業(ふれあし			事業を	を始め	かた理由(	きっかけ)は何7	<b>5</b> \				
	•	****		<del></del>	W11	===				記童へのきめ細 て実施学年を					
	所管局 艮拠法令	教育委員会		所管課	学校企画	<b>課</b>	——  景   <sup>古 子 fi</sup>	X /J · <del>-</del>	大窓に心し	、人大心十千で	<b>人</b> 切 C <del>人</del> //	心し、十日心仏	07时工 6千百	日頃のた旧で	. Eaの。
			行政計画	i 第2次教育	f振興基本計i	画	_								
	事業概要		בוות אמנו	313 - 37 (37)	7,000	_									
_		対象として行うのか	)\					方策	を踏まえ、	目的達成に向	けて主に	どのような	ぱのような		ら事業を見直
2.3	福岡市立	<b>正学校の小学生</b>			実	方法で何を行	うったのか						成し(終了)す		
象					施内	(1) 活動内容 • 学習習慣(	の定差や学習音	5袎σ	)向トのたね	カに、家庭学習 <i>σ</i>	)什方や計i	画の		D定着と学習だ であり、本事	意欲の向上は
	共会ナ じ	かしこれ小学にしょ	1,04		容	立て方、ま	た、児童の苦	手なと	ころの学び	直しなどを中心し	こ支援する	_	直 る必要があ		未は胚削り
_		であるな状態にした の定着と学習意欲			事	・教科や字3 (2) 人材	年については、	谷字	校の実態に	応じて工夫するこ	ع		L		
争業	, 66 18		(0)1.1_0		業	▶ ・各学校2名	ろ 支援リーダー、 <i>と</i>	+ مل >	- 八十拉旦				判 断		
目的					手段	(3) 活動時間							基		
的						<ul><li>1名当たり</li></ul>	年間(35週)で7	70時間	間となるよう	計画			準		
			b T												
	コシックモ	Eデル・指標の選 ① <b>活動7</b> ウトフ			<b>@</b>	結果アウトプット				③中間7:	<b>ነ</b> ሌቱ ለ		(	<ul><li>4)最終アウトカム</li></ul>	
		(どんな活動を行				<b>結果、どうなる</b>		Ш	(その	の結果、対象は	どうなるの	つか)		、市としてどう	
		材等を活用し、補充	学習を実施			果後に個別指				童の学習習慣	が定着し				着と学習意欲
	る。				重へのきめ刹	田かな支援が	行われる。	М	欲が向上	:する。			の向上によっ <sup>-</sup> 向上する。	(、対家児里(	ル子ふ安勢か
ロジ								/				/			
ッ		指標の内容		 実	往	_	  標	成	ts te	の内容		実	<u>/</u>		標
クモデ		ま果アウトプットに対応した	年度	 R5年度	<del>阻</del> R6年度	R7年度	最終年度	果	※③中間7	<b>かかんに対応した</b>	 年度	R5年度	限 R6年度	<u></u> R <b>7年</b> 度	最終年度
デ	活	指標を設定	目標	145	145	八十尺	R 年度	の		票を設定	<del></del> 目標	95.0%	95.0%	八十尺	R 年度
I		あい学び舎事業の	実績	145	145	_	N 7/X		【学習習慣 教職員の	[の定者』   調査における	実績	88.4%	91.6%	_	N T/X
	の実施権	校致	達成率	100.0%	100.0%		_		肯定的回	· · · =	達成率	93.1%	96.4%		_
	標		目標				R 年度	K	【学習意欲	# A = L 1	目標	95.0%	95.0%		R 年度
									l	としつ ローニュー・コー	ᄆᆥ	93.0/0	00.070		八十尺
			実績					ľil	教職員の	調査における	実績	92.5%	97.2%	_	八十尺
			実績 達成率					- )	教職員の 肯定的回	調査における				_	一
			達成率	十画(政策推通				)	教職員の	調査における	実績 達成率	92.5%	97.2%	_	一
4	事業区分	重	達成率	学	交の教育活動	に関する満足		· •	教職員の	調査における	実績達成率	92.5% 97.4% 事業費(千円)	97.2%	_	一
		主 1	達成率 基本詞	学 施 (「z	交の教育活動 つからない」及	に関する満足. び「無回答」を	除く回答のうな	.ー )	教職員の	調査における 答割合 令和6年度決 歳出	実績 達成率	92.5% 97.4% 事業費(千円)	97.2%	29,674	一
旅	策コード	主 1	<b>達成率</b> 基本記念 -8-1	学権 施 (「z 策 「満 成 市」	交の教育活動 つからない」及 「足」又は「どち 民の割合)	び「無回答」を らかといえば;	除く回答のうな	.ー )	教職員の	調査における 答割合 令和6年度決 歳出 歳 特定	実績 達成率 算額(見込	92.5% 97.4% 事業費(千円)	97.2%	9,577	一
旅	5策コード 野別目標	主 1 再 一 ー人ひとりが心豊かに着	達成率 基本記点 -8-1	学校 (「z	交の教育活動 っからない」及 「足」又は「どち	び「無回答」を らかといえば;	除く回答のうな	.ー )	教職員の清定的回	調査における 答割合 令和6年度決 歳出 歳 特定 入 一般	実績 達成率 算額(見込 財源 財源	92.5% 97.4% 事業費(千円)額)	97.2%	·	一
が分	5策コード 野別目標 施策	主 1 月 一	<b>達成率</b> 基本記点 -8-1 -6-1 -6-2 -6-2 -6-2 -6-3 -6-3 -6-3 -6-3 -6-3	施策 (「活 成東市」 マエいる の育成 標標	交の教育活動 つからない」及 「足」又は「どち 民の割合)	び「無回答」を らかといえば;	除く回答のうな	.ー )	教職員の清定的回	調査における 答割合 令和6年度決 歳 歳 特定 入 一般 前年度決算額	実績 達成率 算額(見込 財源 財源	92.5% 97.4% 事業費(千円) 額) 予算額	97.2%	9,577 20,097	—————————————————————————————————————
が分	5策コード 野別目標	主 1 再 一 ー人ひとりが心豊かに着	達成率 基本記点 -8-1 らし、元気に輝いてる子ども・若者のた子どもの	施策成果 でいる の育成 育成	交の教育活動 つからない」及 「足」又は「どち 民の割合) 令和6年度目	び「無回答」を らかといえば;	除く回答のうな	.ー )	教職員の清定的回	調査における 答割合  令和6年度決 歳 特定 入 一般 前年度決算額	実績 達成率 算額(見込 財源 財源 ・翌年度・	92.5% 97.4% 事業費(千円) 額) 予算額 R5	97.2% 102.3%	9,577 20,097	一
分	5策コード 野別目標 施策	主 1 月 一	達成率 基本記点 -8-1 らし、元気に輝いてる子ども・若者のた子どもの	施策 (「活 成東市」 マエいる の育成 標標	交の教育活動 つからない」及 「足」又は「どち 民の割合) 令和6年度目	び「無回答」を らかといえば;	除く回答のうな	.ー )	教職員の清定的回	調査における 答割合 令和6年度決 歳 歳 特定 入 一般 前年度決算額	実績 達成率 算額(見込 財源 財源 ・翌年度	92.5% 97.4% 事業費(千円) 額) 予算額 R5	97.2% 102.3%	9,577 20,097	一

19,978

23,674

					事務	事業マネジ	<u>メント</u>									
	事業名	GIGAスクール構	想推進事業	美							きっかけ)は何:					
		# <del>*</del> * * • •			1411	1// 5// =m	一背							·拓〈総合経済: 学校情報通信:		
		教育委員会	11 - 1// 2//-	所管課	教育ICT	推進課			・イレバニ 金ェス	i GIGA ノ クアメ「タンウ	ヘクール構造」 「学校情報機器	の夫切に R整備費補	かく、「公立- i助金」が創設:	チ饺1月秋週15~ されたもの。	<b>イツトソーク</b> 項	<b>尽</b> 児他政策///
_	<b>根拠法令</b>	学校教育の情報				3 <del>44   -  </del>		J. 1111 - J.	ж J //	.0.44		4 JE 1/11 5-4 111		24072000		
-	開始年度	令和2年度	行政計ī	画 第2次福岡	司市教育振興	基本計画										
	事業概要	_														
		対象として行うのが		. \$ 14 =14 =					策を	踏まえ、	目的達成に向	けて主に	どのような	成とのような		ら事業を見直
		校(小中高特)のリ	<b>見</b> 重生徒及	び教職員		方法で何を行								成し(終了)す		
象						・ICル主土にタ					まの追加整備 対象機	Ħ				ゾ学校の通信 ームの構築等
					1	・一〇丁似数相に					ュ笠畑 象とした専用^	ヽルプデス	クを設置	見  環境で子		
		のような状態にした									め、授業目的			し徒が日常的	内に学習でIC	Tを活用できる
事	I-0	一人ひとりが端末	を十分に流	ち用できる環境		(SARTRAS)				== ±.				判環境を構築	をし、維持する	るとともに、ICT
業					]	┗┃○文部科字省 ■ 2教科整備	の施第	まと合わ つ	せて、	、字習者	用デジタル教利	斗書を全小	中学校に	断を取り巻く	環境変化への	り対応を進め
目的					Į.	2 教件金佣								基る。(継続)		
нэ					\	<b>-</b>								<u> </u>		
	_		+													
ᅶ	コンツクモ	デル・指標の資				<u> </u>					@ <b>#</b> ###	L1			<b>↑■4</b> 57±1±	,
		①活動7ウトフ (どんな活動を行				②結果アウトプット 〕結果、どうなる	<b>መ</b> ሐነ			(70	③中間7º の結果、対象は		D47)		④最終アウトカ 、市としてど・	
		10.000円 10.00mm 10.0		1 -4		こおいて、1人1		末の	\		学校で児童生			·子どもの情報		
	•校内LAN	Nの高速大容量化				アプリケーショ				_	人1台端末を					・ 供たちの学び
	整備		`	用:	環境が整う	0			う	0				を保障できるま	環境の実現	
	<b>+</b>	ットフォームやAIト	トリルの活見	开填現					7							
  シ		員などによる活用	サポート						<i>'</i>				/			
ッ	ļ	** 「	1		A- <del>+</del>		-			16.12				x+		- i=
クエ	1	指標の内容 果アウトプットに対応した		実			標		成 果 ※		の内容 かかいに対応した	<u> </u>		積		]標 <del> ̄ョ<i>ねと</i>ェ</del>
モデ		指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度		:干及 (	ற்ட		票を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ル	/ <del>  </del>	E徒1人1台端末	目標	228	229		R				取組に係る実施で「毎日タブレッ	目標	80.0%	90.0%		R 年度
		計された学校数	実績	228	229		_	_  1	15天	を使用して	授業をしている」	実績	91.4%	94.9%	_	_
	指		達成率	100.0%	100.0				ارا	四百じた子		達成率	114.3%	105.4%		
		生徒が同時に端末		228	229	9	R	工庫			端末を週に2 ち帰って学習	目標	90.0%	90.0%		R 年度
		できるネットワーク	実績	228	229	9 —	_				る学校の割し	実績	55.8%	52.3%	_	_
		整備された学校数	達成率	100.0%	100.0	%		•	一合			達成率	62.0%	58.1%		
			基本	計画(政策推進	<b>単プラン)</b>								事業費(千円)			
4	事業区分	重	点			動に関する満足が		<u></u>			令和6年度決	算額(見込	額)			
		主 1	I-8-1			及び「無回答」を ちらかといえば氵					歳出				1,416,512	
所	を 第コード	再一			」た」スは「こ 民の割合)	ううかていんはん	ᄥᄯᆚ	- 四古した	_		歳特定	財源			12,120	
分	野別目標	一人ひとりが心豊かに着	 事らし、元気に輝	wrtha 果 →F	R6年度目標	値:80%					入一般				1,404,392	
	施策	自ら考え、学び、行動で		———							前年度決算額		<b>万</b> 复額		, : = :,===	
		「仕ちても」をはっ		標							左 中		DE DE	Г	_	

R5

1,412,930

1,393,160

19,770

年度

歳出

特定財源

一般財源

R**7** 

1,418,698

1,418,698

事業群

取組方針

推進項目

「生きる力」を持った子どもの育成

行政運営プラン

					事務事	<b>事業マネジ</b>	メント	シー	<b>-</b> (	(令和6	年度実施	分)				
	事業名	学校生活支援事	 業								<u>つかけ)は何</u> 7					
	尹禾石						担	平成1	19年月	度より「特別	川支援教育支	援員等の	配置」事業とし	て校内の支援	体制の充実を	図ってきた
	所管局			所管課	発達教育	センター		か、符》  在度か	別文∄ よ「学	援字級の児 対数生活支	記重生徒だけ: 揺員 スレタ	か文援对i 称恋面l	象であるとの誤 配慮を要する	解を受ける怨 児童生徒が支	れかあること	から、令和元 やすい休制づ
	<b>見拠法</b> 令			_   <i>bb</i>		++=1=		くりを目	う  指す	こととした。		小交叉	印息で女子の	儿主工化从人	及とのう文ロ	(- ) ( . http://
	<b>射始年月</b>		行政計画	第2次福岡	市教育振興	基本計画										
	業概	- · <del>-</del>					<u> </u>						10 - 1 - 1	1.5 - 1 - 1		> <del></del>
		を対象として行うのか 中学校等に在籍する		よる旧会仕往等		令和6年度、i 方法で何を行	前年度( たの)	の改善フ か	万策を	と踏まえ、自	目的達成に向	けて主に	どのような	がし フルタートコ	:状態になった taのか	:ら事業を見直
対象	111 77.11	・中子仪寺に14相りる	印思で女	の元里工作	施	〇配置希望訓		* *	トで	学校生活	支援員430人	を配置		木		まは年々増加
3					内	○能置布宝別  ○学校生活式							作成し、	見しており、	学校生活支援	とは牛へ追加 長員のニーズが
	対象を	どのような状態にした	-いのか		容	配置校全校に	こ配付し	て個人	研修	とした。				直高まってい		
事		生活支援員を配置す		り、当該児童生	徒の事									地		
業		活や学習活動上のサ	ナポートなと	ぎを行い、校内 <sup>・</sup>	での									判断		
目	支援体	制を充実させる。			手 段									基		
的														準		
	<u>!ジック</u>	アモデル・指標の通									<u> </u>				A = 11.1	
		①活動アウトプ (どんな活動を行				結果アウトプット 結果、どうなる	<i>ው</i> ታላ ነ			(その)	③中間アッ 結果、対象は		D4V)		④最終アウトカル 、市としてどう	
	- 配慮2	<u> </u>		\ <u>                                     </u>		校生活を円		ごす	١.		する児童生			·特別支援教		7400711-1
	•支援	対象となる児童生徒が				習活動が充実		/		りの実現	, 0,0±±	,ce~/c		・インクルーシ		<u>É</u>
		「活動の支援 学級で使用する教材?	づくい生のな	# Bt.					-	授業の理	解度が高ま	る。				
	一部-	子級で使用する教物。	ノヘク寺の作	田印												
ジ									<b>'</b>				1			
ック		指標の内容			 漬	l l	  標		成	指標の			実	績	E	 ] 標
クモデ		)結果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終	年度	果り	※③中間アウト 指標マ	カムに対応した・ を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
アル	活		目標	375	430		R 4	年度		2置率		目標	100.0%	100.0%		R 年度
	動の配置	置人数	実績	375	430	_			標(	配置校数/	配置希望校	実績	100.0%	100.0%	_	
	指		達成率	100.0%	100.0%		_	_		女)	-	達成率	100.0%	100.0%		
	標		目標	1	1		R 4	年度	N F			目標				R 年度
	研	<b>多実施回数</b>	実績	1	1	_			il.			実績				
			達成率	100.0%	100.0%				<u> </u>			達成率				
			基本	計画(政策推進	プラン)								事業費(千円)			
Ą	事業区分	重	·点	学	の教育活動	に関する満足	度			<del>-</del>	和6年度決	算額(見込	額)			
14		( 主 1	-8-1	施【「衤	oからない」及 ロ ロンナ「ビナ	び「無回答」を	除く回答	答のうち ·回ダ! #	-		歳出				764,749	
刑	策コー	<sup>▶</sup>   再			た」又は「こう その割合)	りりいこいんはん	何化]  C	.凹合し/	_		歳 特定	財源			186,621	
分	野別目	標 一人ひとりが心豊かに暮		いている 果 →F	6年度目標値	直:80%					入 一般	財源			578,128	
	施策	自ら考え、学び、行動す		——— tie l					前			<b>予算額</b>				
	事業群	「生きる力」を持つ	た子どもの	)育成 <b>(原</b>							年度		R5	R	7	
				行政運営プラ	ン						歳出		457,		1,089,487	
В	·····································	+									歳特定		90,8		418,956	

推進項目

670,531

366,518

一般財源

					事務事	『業マネジ	メントシー	<b>~(令和</b> (	6年度実施	分)				
	事業名	特別支援学級整	備(自閉症・情	<b>挿緒障がい特</b>			事業を	始めた理由(	きっかけ)は何	か				
		# <del>* * * * * * * * * * * * * * * * * * *</del>			1 34 5+ 40 - <del>1</del> -				生徒が、特別な る生きる力を増		記慮のもとに、能	力や可能性を	伸ばし、自立	し、社会参加
		教育委員会		所管課	発達教育·	センター	景 9つに	がのを強こな	の王らの刀を垣	シングン	又但。			
	根拠法令 開始年度	四 昭和24年度	行政計画	笙2次福岡	市教育振興	集本計画								
	業概要	11111	门灰印画	37 C 77 (B) C)	11.17 El 75.77	E-T-H1 E4								
		<u>▲</u> 対象として行うの <i>1</i>	ייל			令和6年度、1	前年度の改善だ	策を踏まえ	目的達成に向	」けて主に	どのような	成とのような	状態になった	ら事業を見直
7.3	自閉症・情	青緒障がい特別支	援学級対象の	)児童生徒	実							限し(終了)す	るのか	
象					施力		無や本人と保		望を確認し、対	対象校に教	[室が整備 ┃ ┃ ┃	令和8年		0%以上となる
	11 40 1-15	_ , _ , , , , , , , , , , , , , , , , ,			内 	ぐざるか検討	のうえ、整備を	行つた。					理設を進めて 、必要性があ	いる。その後 る学校に設
		のような状態にした 情緒障がい特別		要士2- レィー	より、事						- 11	置を行う。		, o , i, v. , µ, v
事業		「骨釉障がい特別」 の学校において、			ける							判		
未目的		る。また、保護者										基		
的	<b>්</b>				段							準		
												~		
<u></u>	ジックモ	デル・指標の過												
		<ul><li>①活動7ウトフ</li><li>(どんな活動を行</li></ul>				結果アウトプット 結果、どうなる		(2	③中間7 の結果、対象は		D47)		④最終アウトカム 、市としてどう	
		情緒障がい特別を		者した居			がい特別支		の相末、対象で 区の学校にお			特別支援教育		いかのいかり
	の把握			援党	2級に通学で	<b>ごきる</b> 。			を受けること					
	•目閉症 •′ 	情緒障がい特別る	と援字級の新	段	護者の送迎	負担が解消	される。							
ロジ														
ジッ				<i>'</i>				'						
ク		指標の内容			•									
モデ	※②結:	果アウトプットに対応した		<b>~</b> 1	責	目			の内容		実統	責	目	標
レル	·-	指標を設定	年度	R5年度	<sub>₹</sub> R6年度	目 R <b>7年</b> 度		果 ※③中間7	票の内容 かかに対応した 票を設定	年度	実 ( R5年度	責 R6年度	目 R7年度	最終年度
	石	指標を設定	年度 目標		•		最終年度	果 ※3中間7 の 指 居住校区 指	かかに対応した 票を設定 の自閉症・情	目標				
	活 動 設置率		目標実績	R5年度	R6年度		最終年度	果 ※3中間7 の 指 居住校区 緒障がい	かねに対応した 票を設定 の自閉症・情 特別支援学級	目標実績	R5年度	R6年度		最終年度
	の  <sup> 改直年</sup>  指		目標 実績 達成率	R5年度 20.0	R <b>6年度</b> 40.0		最終年度 R 年度	果 ※3中間7 の 指 居住校区 緒障がい	が加に対応した 票を設定 の自閉症・情 特別支援学級 ている児童生	目標 実績 達成率	R5年度 50.0	R6年度 60.0		最終年度 R 年度
	の   <sup> 改直年</sup>		目標 実績 達成率 目標	R5年度 20.0 21.0	R <b>6年度</b> 40.0 40.0		最終年度	果 の 居住校区 緒障がい に通学し	が加に対応した 票を設定 の自閉症・情 特別支援学級 ている児童生	目標 実績 達成率 目標	R <b>5年度</b> 50.0 49.0	R <b>6年度</b> 60.0 62.4		最終年度
	の  <sup> 改直年</sup>  指		目標 実績 達成率 目標 実績	R5年度 20.0 21.0	R <b>6年度</b> 40.0 40.0		最終年度 R 年度	果 の 居住校区 緒障がい に通学し	が加に対応した 票を設定 の自閉症・情 特別支援学級 ている児童生	目標 実績 達成率 目標 実績	R <b>5年度</b> 50.0 49.0	R <b>6年度</b> 60.0 62.4		最終年度 R 年度
	の  <sup> 改直年</sup>  指		目標 実績 達成率 目標 実績 達成率	R5年度 20.0 21.0 105.0%	R6年度 40.0 40.0 100.0%		最終年度 R 年度	果 の 居住校区 緒障がい に通学し	が加に対応した 票を設定 の自閉症・情 特別支援学級 ている児童生	目標 実績 建成率 目標 実績 達成率	R5年度 50.0 49.0 98.0%	R <b>6年度</b> 60.0 62.4		最終年度 R 年度
	が開発している。	逐(%)	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率	R5年度 20.0 21.0 105.0% 画(政策推進	R6年度 40.0 40.0 100.0% プラン)	R7年度 —	最終年度 R 年度 — R 年度	果 の 居住校区 緒障がい に通学し	がかいに対応した 票を設定 の自閉症・情 特別支援学級 でいる児童生 (%)	目標 実績 目標 実績 達成率	R5年度 50.0 49.0 98.0% 事業費(千円)	R <b>6年度</b> 60.0 62.4		最終年度 R 年度
	の  <sup> 改直年</sup>  指	조(%)	目標 実績 達成率 基本計点	R5年度 20.0 21.0 105.0% 画(政策推進	R6年度 40.0 40.0 100.0% プラン)	R7年度	最終年度 R 年度 一 R 年度	果の指標 (KPI)	かかいに対応した 票を設定 の自閉症・情 特別支援学級 ている児童生 (%)	目標 実績 軍標 実成率 単額(見込	R5年度 50.0 49.0 98.0% 事業費(千円)	R <b>6年度</b> 60.0 62.4	R7年度 —	最終年度 R 年度
Infl	が指標となった。	重主 1	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率	R5年度 20.0 21.0 105.0% 画(政策推進 学校 (「た 策「満	R6年度 40.0 40.0 100.0% プラン) の教育活動 からない」及 足」又は「どち	R <b>7年度</b> に関する満足び「無回答」を	最終年度 R 年度 — R 年度	果の指標(KPI) (KPI) (スター・) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学	かかいに対応した 悪を設定 の自閉症・情 特別支援学級 にいる児童生 (%) 令和6年度決 歳出	目標 実績 写 実績 達成率 算額(見込	R5年度 50.0 49.0 98.0% 事業費(千円)	R <b>6年度</b> 60.0 62.4		最終年度 R 年度
通施	の 指標 区分 第二一ド	至(%) 重 主 再 —	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率 基本計	85年度 20.0 21.0 105.0% 画(政策推進 学(「社	R6年度 40.0 40.0 100.0% プラン) の教育活動 からない」及 足」又は「どち	R <b>7年度</b> に関する満足 び「無回答」を らかといえば	最終年度 R 年度 R 年度 R 年度	果の指標(KPI) (KPI) (スター・) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学	かかいに対応した 悪を設定 の自閉症・情 特別支援学級 ている児童生 (%) 令和6年度決 歳 特定	目標 実績 準 目標 実成	R5年度 50.0 49.0 98.0% 事業費(千円)	R <b>6年度</b> 60.0 62.4	R <b>7年度</b> — 183,497 0	最終年度 R 年度
通施	の指標 業区分 第コード 野別目標	重 主 1 再 一 一人ひとりが心豊かに著	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率 基本計画 点 -8-1	R5年度 20.0 21.0 105.0% 画(政策推進 学(「れ 市 下 成果も	R6年度 40.0 40.0 100.0% プラン) の教育活動 からない」及 足」又は「どち	R <b>7年度</b> に関する満足 び「無回答」を らかといえば	最終年度 R 年度 R 年度 R 年度	果の指標(KPI) (KPI) (スター・) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学	かかいに対応した 悪を設定 の自閉症・情 特別支援学級 ている児童生 (%) 令和6年度決 歳 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	目標 実成 標 実成 零 算額(見込) 財源 財源	R5年度 50.0 49.0 98.0% 事業費(千円)	R <b>6年度</b> 60.0 62.4	R7年度 —	最終年度 R 年度
通施分	の指標 学区分 ま業ロード 野別目標 施策	重 主 ー ー ー ー ー し 自ら考え、学び、行動で	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率 基本計画 点点 -8-1	R5年度 20.0 21.0 105.0% 画(政策推進学(「満氏市→R 前、京成果指標	R6年度 40.0 40.0 100.0% プラン) の教育活動 からない」及 足」又は「どち	R <b>7年度</b> に関する満足 び「無回答」を らかといえば	最終年度 R 年度 R 年度 R 年度	果の指標(KPI) (KPI) (スター・) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学	かかいに対応した 悪を設定 の自閉症・情 特別支援童生 (%) 令和6年度 歳 令和6年度 歳 人 向 有 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	目標 達相標 事業成標 算額(見) 財源 財源 東京	R5年度 50.0 49.0 98.0% 事業費(千円) 額)	R6年度 60.0 62.4 104.0%	R <b>7年度</b> — 183,497 0 183,497	最終年度 R 年度
通施分	の指標 業区分 第コード 野別目標	重 主 1 再 一 一人ひとりが心豊かに著	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率 基本計画 点の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の	R5年度 20.0 21.0 105.0% 画(政策推進学(「満氏市→R 前、京成果指標	R6年度 40.0 40.0 100.0% プラン) の教育活動 からない」及 足」又は「どち の割合) 6年度目標値	R <b>7年度</b> に関する満足 び「無回答」を らかといえば	最終年度 R 年度 R 年度 R 年度	果の指標(KPI) (KPI) (スター・) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学	かかいに対応した 悪を設定 の自閉症・情 特別支援学級 ている児童生 (%) 令和6年度決 歳 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	目標 実成標	R5年度 50.0 49.0 98.0% 事業費(千円)	R6年度 60.0 62.4 104.0%	R <b>7年度</b> — 183,497 0 183,497	最終年度 R 年度

113,317

594,956

						主	1業マネジ	メントシー	- <b>L</b>	(全和)	会在	- 使宝体	<b>公</b> )				
			小学校外国語活	動支援事業	<u> </u>	7 17 7	アホトヤノ					<u>- 文 大 心</u> かけ)は何:					
	事業	名		-11×11×11×1										ム」において、国	際理解教育の	充実が位置で	づけられ、外
	所管	局	教育委員会		所管課	小学校教	 育課	<b>── 背</b>  国語:	お導.	助手(ALT)	) <b>ග</b> :			用を図り、生き			
7	艮拠污	去令	学校教育法施行	規則	•	•			事業 <sup>·</sup>	を開始した	• 0						
Ī	開始年	 F度	平成15年度	行政計画	9 第2次福岡	司市教育振興	基本計画										
	事業	概要	]		•			•									
			- 対象として行うの <i>た</i>				令和6年度、		方策	を踏まえ、	、目	的達成に向	けてどの	ような方法	せ どのような	状態になった	ら事業を見直
対	福岡	市立:	学校の小学3・4年	F生		実	で何を行った	のか							成し(終了)す	「るのか	
象						施	〇英語を母語	とする、また	は英	語に堪能な	なゲ	ストティーチ	·ヤー(以	下「GT」とい .	~┃小学3・4年		活動における
						内      容	う)を、小学校 〇各小学校で				こ年	8時間配置	0	1 1	見して	ーション活動の らり、本事業は	の充実は今後
		_	のような状態にした			_	○谷小子校(	、公用技术!	川多っ	云で天心。				- 11	直 も重要であ し 要がある。	り、一十末は	・胚形のの化
事	外国	の言	語や文化に対する	体験的な	理解や積極的	事									判		
業	ミユー	ニケー	·ションを図ろうとす 的な表現に慣れ親	「も態度を育 ■ ませたか	す放し、外国語 ぶら 伊帝のコ	新の音 ミュニ 手									断 基		
目的			能力の素地を養え		での、元重のコ										基		
מם						<b>-</b>									準		
			A														
1	<u>コジッ</u>	ックモ	デル・指標の過				<del>***</del> = - 1 - 2 1		_							<b>↑ = 4</b> - 1	
			①活動アウトプ (どんな活動を行				結果アウトプット 結果、どうなる	<i>ው</i> ቀላ)		(2)	മല	③中間7' 課、対象は		04V)		④最終アウトカル 、市としてどう	
	- /l\=		<u>・4年生にGTを配</u>		とGT \ ・接		<del>個末、とりなる</del> を活用するこ		H.			極的に英語			小学校外国語		
			国語活動を行う。				コミュニケー		1	たりする。			C   A   V   7		力が向上し、(		
	・す/	べての	)小学校で公開授	業研修会を	行う。	実する。			IB			算法が改善	される。				広く行われるこ
							たおいて、指		۱ſ						とになり、児童 が育つ。	[のコミュニケ	ーション素地
ロジ							里解が図られ	る(小中連	/						J·月 ノ。		
ツ	Ш		指標の内容	I	携			1==	-	1879	<del>=</del> (/)	<b>内容</b>			± 1		1 4 255
クモ	;		果アウトプットに対応した	左曲		績 R6年度		標	成甲	※③中間7	ウトカム	ムに対応した	年度	実績 R5年度			標
モデ	<u>-</u> -		指標を設定	年度 目標	R5年度 145	146	R7年度	最終年度 R7年度	−		標を		<del>干及_</del> 目標	90	R <b>6年度</b> 93	R7年度	最終年度 R7年度
ル	뻬		受業研修会の実	実績	145	146		八十尺	指	とを伝えたり、相	手の	分の言いたいこ  言いたいことを理	実績	88	85		八十尺
	の  <sup> </sup>	拖校数	<b>t</b>	達成率	100.0%	100.0%	_	_	標	解できるようにな 童の割合	よりたし	い」と回答した児	達成率	97.3%	91.8%	_	_
	指 -			目標	100.0/0	100.0%		R 年度	<b>√</b> K				目標	97.3%	91.0/0		R 年度
	標			実績				八十尺	P			-	実績				八十尺
				達成率								÷	達成率				
F						w 9—			$\sim$				廷戍平	- W - + \			
			Ī	-	計画(政策推)		,							事業費(千円)			
3	事業区	区分		点			に関する満足 び「無回答」を		Ł		令	和6年度決		∆額)			
k	施策コ	—К	主 1	-8-2			らかといえば					歳出				32,767	
,,	<u>Б</u> Ж ¬		再一		成市	民の割合)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				歳 特定	財源			6,814	
分	野別	目標	一人ひとりが心豊かに着	いまない こう	いている果	R6年度目標值	<u>i</u> :80%					入 一般	財源			25,953	
	施領	<b>表</b>	自ら考え、学び、行動す	する子ども・若者	音の育成 標						前	年度決算額	翌年度	予算額			
	事業	群	グローバル社会を生き	るキャリア教育	育の推進 一本							年度		R5	R	7	
					行政運営プラ	シ				1		歳出		32,8	06	33,265	
	取組プ	片針								1		<b>農 特定</b>	財源	5.7	41	10.917	

27,065

22,348

所管課 教育委員会 所管課 中学校教育課	事業名						<b>主</b>	<b>重業マネジ</b>	メントシ	<b>/</b> — -	(今和6	3年度	宝施分	)				
#報告の内容   10	# 第名				h—委託事業	É	于 7.7.1	<u> </u>						<u>/</u>				
構製法令 学校教育法院行規則 開始年度 平成23年度	機関係		事業名	ייין אין אין	) 女心デオ				平	成12年	策定の「福	岡市教育	改革プロ					
開始年度   平成23年度   平成23年度   不成計画   第2次福岡市教育振興基本計画   第4 概要   平成23年度   不成計画   第4 元	(国・東京20年度   行政分析会の1785)   行政計画   第2文福岡市教育振列基本計画   第4 所名を展   第5 所名   第5 所		所管局	教育委員会		所管課	中学校教	育課		指導助	手(ALT)の	増負や	也域人材(	の活用を	を図り、生きた語	語学教育と国際	祭理解教育を	推進するため
事業概要	事業概要	1	艮拠法令	学校教育法施行	規則				<b>一</b>   本	争耒を	用炤した。							
大田田市立学校の小平生(5・6年)、中学生、特別支援学校   100   1	横の形式	Ī	開始年度	平成23年度	行政計画	第2次福岡	市教育振興	基本計画										
対象をどのような状態にしたいのか	# 活躍の内容		<b>事業概</b> 要	1)														
	第 の児害生徒     対象をどのような状態にしたいのか     「元章を使の英語によるコミュニケーションカ、行動力、発信     方を向上させる。					生 特别支援	学校 🖶	令和6年度、前	が年度の改 ったのか	善方策	を踏まえ、	目的達用	戊に向けて	注にと	ごのような	どのような	状態になった	ら事業を見直
対象をどのような状態にしたいのか   対象をどのような状態にしたいのか   大き語が集ませい場入材などの値   大き音を表した。   本	対象をどのような状態にしたいのか   実施	タ 象	の児童生	<u>- 子</u> 後の介・子工(3 E徒	O <del>+</del> /、++-	工、1寸/川又1及	施	〇ネイティブス		(外国人	英語指導	講師)(以	下[NS]と	いう。)	の配置、	<b>果</b> 〇中学校学	習指導要領に	
大田	対象を企のような下機にしたいかか								E牛、中学	校は. 4	₽学級で1-	クラス当	たり年30日	<b>計程</b> 程	度実施。	2 や英語が堪	能な地域人材	などの協力を得
# Den Let to 3。	# 力を向上させる。   第一大学校の生生が多に、大部・中で砂には、大部・中で砂には、大部・中で砂には、大部・中で砂に、大部・中で、大和・中で、大部・中で、大和・中で、大部・中で、大和					力 行動力		▶️特別支援学村	交は、学校									
日的	日   日   日   日   日   日   日   日   日   日	事業			.— , , , , , ,	73(   1 = 2) / 3 (		-中学校3年生	を対象に							判 〇児童生徒	の外国語科に	おけるコミュニ
This の達成度   では、言語活動を重視した授業改善に関する研修を実施した。   では、言語活動を重視した授業改善に関する研修を実施した。   では、言語活動を重視した授業改善に関する研修を実施した。   では、言語活動を重視した授業改善に関する研修を実施した。   では、言語活動を重視した授業改善に関する研修を実施した。   では、言語活動を重視した授業公書に関する研修を実施した。   では、言語活動を重視した。   では、言語活動の業・のでは、言語活動の主意、事に関する研修を実施した。   では、言語活動が主意、事に関する研修を実施した。   では、言語活動が主意、事に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語によるコミューケーション、行動力、、発信したるコミューケーション、 行動力、、発信しよるコミューケーション、 行動力、、発信力に対しいで、発信しよるコミューケーション、 方動に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修を実施した。   では、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修を実施します。   では、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修として、言語に関する研修といるに関する、対象に関する、では、言語に関する、では、言語に関する、では、言語に関する、では、では、言語に関する、では、では、言語に関する、では、言語に関する、では、言語に関する、では、言語に関する、では、言語に関する、では、言語に関する、では、言語に関する、では、言語に関する、では、言語に関する、では、言語に関する、では、では、言語に関する、では、では、言語に関する、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	「ロジックモデル・指標の達成度	目					手	・英語の発信:	カの向上の	りために	、全中学校	交を対象	に、スピー	チコン	テストを実	基り、本事業は	は継続する必要	長がある。
【ロジックモデル・指標の達成度】  (とんな活動を行うのか) ・・小・中・特別支援学校にNSを配置し、担任 や英語科教員とNSによる授業を行う。  (活動の結果、どうなるのか) ・・投業中の英語による実践的なコミュニ ケーション活動が充実する。  (その結果、対象はどうなるのか) ・・機能によるコミュニケーション力、行動 力、発信力(英検3級相当以上の割合) が向上する。  (その結果、市としてどうなるのか) ・・機能によるコミュニケーション力、行動 力、発信力(英検3級相当以上の割合) が向上する。  (との結果、市としてどうなるのか) ・・機能によるコミュニケーション力、行動 力、発信力(英検3級相当以上の割合) が向上する。  (との結果、市としてどうなるのか) ・・機能によるコミュニケーション力、行動 力、発信力(英検3級相当以上の割合) が向上する。  (との結果、市としてどうなるのか) ・・機能によるコミュニケーションカ、行動 力、発信力(英検3級相当以上の割合) が同上する。  (との結果、市としてどうなるのか) ・・機能によるコミュニケーションカ、行動 の指導が広く行われることになり、リ 使のコミュニケーション素地が育つ。  (本の対象、対象はどうなるのか) ・・機能によるコミュニケーションカ、行動 の指導が広く行われることになり、リ 使のコミュニケーション素地が育つ。  「おける3年生英検3級相 実績 65.2% 65.9% ー 実績 100.0% 100.0% 2歳成率 100.0% 2歳成率 100.0% 2歳成率 2.4% 110.0% 2歳成率 2.4% 2歳成率 2.4% 2歳成率 2.4% 2歳成率 2歳成率 2.4% 2.4% 2歳成率 2.4% 2歳成率 2.4% 2歳成率 2.4% 2歳成率 2.4% 2歳成平 2.4% 2歳成率 2.4% 2.4% 2歳成率 2.4% 2.4% 2歳成平 2.4% 2.4% 2歳成平 2.4% 2.4% 2.4% 2.4% 2.4% 2.4% 2.4% 2.4%	(アンツクモデル・指標の達成度)	的						・NSの活用事	例をもとに	、言語	舌動を重視	した授業	改善に関	する研	修を実施	準し		
(どんな活動を行うのか) ・小・中・特別支援学校にNSを配置し、担任 や英語科教員とNSによる授業を行う。  「大き語科教員とNSによる授業を行う。 ・授業中の英語による実践的なコミュニケーション活動が充実する。 ・授業中の英語による実践的なコミュニケーション、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・英語によるコミュニケーション、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・英語によるコミュニケーション、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・英語によるコミュニケーション、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・英語によるコミュニケーション、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・英語の内容 ・実績 目標	(どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) ・小・中・特別支援学校にNSを配置し、担任 や英語科教員とNSによる授業を行う。  「接撃中の英語による実践的なコミュニケーションカ、行動 カ、発信力(英検3級相当以上の割合) が向上する。  「指標の内容 ※2線表アがアットに対応した 指標を設定 を度 R6年度 R7年度 最終年度 別が検数 69 69 69 R 年度 関係 69 69 89 R 年度 関係 69 69 89 R 年度 関係 69 69 R 年度 関係 69 69 R 年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終年度 関連成率 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 110.0% 10		- >>		= _& ++- <b>V</b>			した。										
(活動の結果、どうなるのか) ・小・中・特別支援学校にNSを配置し、担任 や英語科教員とNSによる授業を行う。 ・授業中の英語による実践的なコミュニケーション力、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・英語によるコミュニケーション力、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・ 本語によるコミュニケーション力、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・ 本語によるコミュニケーション力、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・ 本語によるコミュニケーション力、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・ 本語によるコミュニケーション力、行動力・、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・ 本語によるコミュニケーション力、行動力・、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・ 本語によるコミュニケーション力、行動力・、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・ 本語によるコミュニケーションカ、行動力・、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・ 本語によるコミュニケーションカ、行動力・、発信力(英検3級相当以上の割合)が向上する。 ・ 本語によるコミュニケーションカ、行動力・、大手を活用した効果がなく行われることになり、し、指導がなく行われることになり、対策を設定 年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終のコミュニケーション素地が育つ、様々を設定 年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終のコミュニケーション方表地が育つ、様々を設定 年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終のコミュニケーション方表地が育つ、様々を設定 年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終の対象 B1 表に対象を対象を表し、表に対象を表に対象を表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表に表し、表に表に表に表し、表に表に表に表し、表に表に表し、表に表に表に表し、表に表に表し、表に表に表し、表に表に表に表に	(どんな活動を行うのか) ・	ᅶ	1ンツク-		- 1 1 1 1 1 1		6	<b>^4+ = -</b> 41 -°									<u> </u>	,
・小・中・特別支援学校にNSを配置し、担任 や英語科教員とNSIによる授業を行う。       ・授業中の英語による実践的なコミュニケーション力、行動力、発信力(英検3級相当以上の割合) が向上する。       ・外国語科において教員の指導力が、発信力(英検3級相当以上の割合) が向上する。       ・外国語科において教員の指導力が、発信力(英検3級相当以上の割合) が向上する。         指標の内容 ※2結果アウトプットに対応した 指標を設定       実績       目標 年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終年度 別の指導が広く行われることになり、見様のコミュニケーション素地が育っ。       実績       日標 標を設定       年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								のか)		(そ				つか)			
お標の内容   実績   目標	###								なコミュニ	=						<ul><li>外国語科に</li></ul>	おいて教員の	指導力が向上
指標の内容   接換   上の工芸ュニケーション素地が育つ。   様のコミュニケーション素地が育つ。   様のコミュニケーション素地が育つ。   様のコミュニケーション素地が育つ。   様のコミュニケーション素地が育つ。   様の内容   実績   目標   日標   日標   日標   日標   日標   日標   日標	#		や英語科	教員とNSIこよる授	<b>美を行</b> り。		ーション活動	が充実する。					3級相当	以上の	の割合)			
指標の内容   実績   目標   「	指標の内容   実績   目標										ツルコエ み	<b>%</b>						
指標の内容   実績   目標   「	指標の内容   実績   目標																	
※②結果アウトフットに対応した 指標を設定   年度   R5年度   R6年度   R7年度   最終年度     活動の   指標を設定   日標   69   69     実績   69   69     達成率   100.0%   100.0%   R 年度   日標   S 年度   R	※2結果アウバフッハに対応した    指標を設定     年度   R5年度   R6年度   R7年度   最終年度     表彰年度     表彰年度     表彰年度     表彰年度     表彰年度     表彰年度     表彰元     表彰年度     表彰年度     表彰年度     表彰年度     表彰年度     表彰日本   表彰年度     表彰日本   表述日本	ッ		<b>指揮の中</b> 変			<i>(</i> ≠		136	成	154	画の内容				<b>/</b> 主		
ル 動 スピーチコンテストの参加校数     実績     69     69     69     69     69     69     69     方の 情標     英語チャレンジテストに おける3年生英検3級相 当以上の生徒の割合     実績     65.2%     65.9%     82.4%       日標 実績 達成率     日標 実績     日標 工作	Table   Ta	ク  モ	<b>※2</b> #	吉果アウトプットに対応した	左曲						※③中間7寸	トカムに対応	1.た指	<b>左</b>			-	1
The state of t	大田		活 ——	指標を設定													八千及	101111111
指   達成率   100.0%   100.0%	指 達成率 100.0% 100.0% 100.0%							<b>-</b>	. 12	18	おける3年	生英検	級相				_	. 12
実績     実績       達成率     達成率	実績 達成率			<del>9</del> X		100.0%	100.09	6		<b></b>	当以上の	生徒の害			86.9%	82.4%		_
達成率	達成率         達成率           基本計画(政策推進プラン)         事業区分         重点         学校の教育活動に関する満足度 (「わからない」及び「無回答」を除く回答のうち、「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答した 市民の割合)         令和6年度決算額(見込額)           施策 自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成 標標         人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている 指標         果 指標           施策 自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成         標標		標					_	R 年度	E P								R 年度
	基本計画(政策推進プラン)  事業区分  重点    **   **   **   **   **   **   **							-										
	事業区分       重点       学校の教育活動に関する満足度 (「わからない」及び「無回答」を除く回答のうち、 満足」又は「どちらかといえば満足」と回答した 市民の割合)       令和6年度決算額(見込額)         分野別目標	H				画(政策推進	<b>ミプラン)</b>			<u> </u>			^		<u>」</u> 事業費(千円)			
事業区分 重点 学校の教育活動に関する満足度	注	- 7	事業区分	重		学村	交の教育活動					令和6年	F度決算都					
	再		- <del>//-</del>	主 1	-8-2	施作	つからない」及 兄 . マ .け「ども	なび「無回答」を「	除く回答の	うち、			歳出				446,654	
	施策 自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成 標	)ji	東コート	再 —		成市	民の割合)			30/2		歳					26,508	
<b>  分野別日樗  </b> - 人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている <b> 果 →</b> R6年度目標値:80% <b>                 </b>	施策 自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成 標	分		一人ひとりが心豊かに着	らし、元気に輝い		R6年度目標(	直:80%				시			- 44-1 <del>-</del>		420,146	
指	● 表研  ソリーハル任気を生さるキャリバ教育の推進			自ら考え、学び、行動す	る子ども・若者の	の育成						前年度		年度了			7	
施策 自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成 標			争耒矸	プローハル社会を生き			٠,											
施策       自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成       指標         事業群       グローバル社会を生きるキャリア教育の推進       作標         年度       R5       R7	1」以建名ノノノ				1	山以理呂ノフ							<b>凉</b> 、江		440,0	ادعر	449,700	
施策 自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成 標	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,																	

445,623

406,984

						事務事	業マネジ	メントシー	· <b>卜</b>	(令和6	6年度実施	分)				
	事業名	<u> </u>	アントレプレナー	ンップ教育							きっかけ)は何:					
								急激は	こ変化	化する社会	ミに柔軟に対応	する力と	態度を身に付け	るために、既存	字のキャリア	教育に「アント
	所管局		教育委員会		所管課	学校企画	課	胃 レノレ	ナーのー	・ンツノ教育 ・層の育成	引を導入し、よ を図る。	り質の高い	いキャリア教育	をめさすことで	、児里生徒0	りナヤレンンマ
	拠法		—	/==! =! <del></del>	[## 0 \h #k #	- 1도 (1) # + -1 :	<del></del>		•,	76 47 17 70	CE 0°					
	見出 日本 1	-	平成27年度	行政計画	弗2次教育	[振興基本計]	<u> </u>									
	事業根		象として行うのだ	<b>\</b>			△和6年度:	かた中の小羊		5七-9水士 ラ	日が法式にた	リナナナリー	じの トラナン	じのトラナン	小台にナシュナ	ら事業を見直
			校の小・中学生	<u>'</u>		実	方法で何を行		刀來	で始まん、	、目的達成に向	ハノく土に		成し(終了)す		ちかったのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ
象	тшт-3	.,	7.7.			施		マインド育成	事業					木		校主体による
						内 					用により全小学					対音を継続的
	対象	をどの	ような状態にした	いのか		_		めナビ授業(ネ 講義型ではな			で各界著名人記 を入れる。	薄帥を招罪	号 <i>)</i>			になり、「将来 る」と答えた児
7			間を創生する子ど				中学校∶未	来を切り拓く	ワー		動画活用によ	り全校で乳		判童生徒の割	割合が、小学	校で89%、中
未	ら、 対	丌しいこ	ことにチャレンジョ	る思欲を育	及りる。	業手		立志応援文庫		生体授予局	<b>車」コーナーを</b> 記	ᅲ		断学校で759 基指標を設定	6に達成した。	段階で、次の
目的						段	主が中子位		· <u>V</u> i	心协技人员	≢J⊐─∕─æä	又旦		基 相保で取り 注	とし、胚形のタイ	S <sub>0</sub>
- 3														J		
H	1>>~	クモラ	デル・指標の達	を												
ħ		<u> </u>	<u> </u>			2	結果アウトプット				③中間7	ウトカム		(	<ul><li>4最終アウトカ</li></ul>	
			どんな活動を行				桔果、どうなる	<u> </u>	I,		の結果、対象は				、市としてど	
			受業、職業探究フ フークショップを実		_	·界著名人に 、れた授業が	よる講話や体	<b>ト験活動を取</b>			夢や希望をも ジする意欲を			・全ての小中等質の高いキャ		主体によるより
	. رو ے	714 ( )	/ //=//c <del>/</del>	5/16 9 TO 0			いけれれる。 カ様子を視聴	することや、	В	テヤレン:	ノ9 る息飲で	付 ノことん	いてきる。	とができるよう		1900 1 J C
					起	業家の講話を	を通して、将来	たに対する児	17							
ロジ					7 7	主徒同士の対	対話的な学習	が充実す								
ッ		坮	1標の内容		<u> </u> る。 実	<u></u>		 標	成	<b>华</b> 城	票の内容		実	<b>全</b>	F	 ]標
クモ	*	(②結果	また。アナイント・ストート・ストート・ストート・ストート・ストート・ストート・ストート・スト	年度	<u>限</u> R6年度	R7年度	最終年度	果	※③中間7	ウトカムに対応した 漂を設定	 年度	R5年度	<sub>限</sub> R6年度	<u></u>	□ 振 □ 最終年度	
デ	活	<u></u>	旧标で設と	目標	R5年度 69	69	17712	R 年度	の #E			 目標	89.0%	89.0%	N/ T/X	R 年度
]			による講話を実	実績	69	69		N T/X	指標		)夢や目標を る」と答えた児	実績	81.0%	83.0%	_	N +1X
	の 指	施し	た中学校数	達成率	100.0%	100.0%		_			割合(%)	達成率	91.0%	93.3%		_
	標			目標	145	146		R 年度	K	「 <b>坪</b> 本 <i>(</i>	夢や目標を	目標	75.0%	75.0%		R 年度
	印写	哉業探り ロム宝は	究プログラム学 施した小学校数	実績	145	146	_		۱۲	もっている	る」と答えた生	実績	69.5%	70.4%	_	
	E	ョで <del>大</del> /	心したが子牧奴	達成率	100.0%	100.0%			·	徒の	割合(%)	達成率	92.7%	93.9%		
	<u> </u>			基本計	·画(政策推進	<b>ブラン)</b>							事業費(千円)			
- 再	業区	分	重	<u></u> 点			に関する満足				令和6年度決	算額(見込	<u>、</u> 額)			
	- /-/	18 =	主 1	-8-2			び「無回答」を らかといえば				歳出				3,366	
加	1 ##				~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		りつかっこいったいよ	個化」と凹合し	,/_		歳特定	財源			0	
-	3 <b>%</b> -	Į.	再 一		成市	その割合)						747 11/2			U	
分	野別	F	<b>冉   ──  </b> −人ひとりが心豊かに暮	らし、元気に輝い		民の割合) R6年度目標値	直:80%				入一般				3,366	
分		目標			ている 果 →F		宣:80%					財源	予算額		3,366	
	野別	目標 - t = f	-人ひとりが心豊かに着	る子ども・若者の	ている <b>果</b> →F 指 標		5:80%				入 一般	財源	予算額 R5	R		
	野別!	目標 - t = f	-人ひとりが心豊かに着 自ら考え、学び、行動す	「る子ども・若者の るキャリア教育の	ている <b>果</b> →F 指 標	86年度目標値	፱∶80%				入 一般 前年度決算額	財源 「·翌年度」	R5	R 870		

3,425

3,370

					<b>主</b>	事業マネジ	メントシノー	- <b>-</b>	(今和6	<b>在</b>	分)				
		いじめゼロプロジ	ェクト		<del>7</del> 177	アホトヤノ				一尺大心(つかけ)は何か					
	事業名		• •				いじめ					応すべき問題とな	いており、そ	の対応に関し	ては、事後に
	所管局	教育委員会		所管課	安全・安心	)推進課	━ 背 対処で	すると	いう発想で	だなく、未然の	5止に力を	いれる必要があ	るため、本事	業の開始に至	≦ったもの。
朴	<b>艮拠法令</b>	いじめ防止対策推	推進法	•	•										
月	開始年度	平成25年度	行政計画	第2次福岡	間市教育振興基	基本計画									
	<u> 業概要</u>														
		対象として行うのか	١					方策	を踏まえ、	目的達成に向	けて主に	どのような   月			ら事業を見直
	児童生徒	、保護者、教職員			美   施	方法で何を行				_			夏 し(松 1 / 9		
象					内	〇いじめ根絶を 〇10月下旬に「				他				の取組みは、	
	11 <b>5</b> + 1°	のしておよりとして	1. O.t.		容	<ul><li>いじめゼロ取</li></ul>	紅組の成果と課	題を執	<b>设告</b>				_	(20 <del>'9</del> 7'00'0	0
		<b>のような状態にした</b> が主体となって、し		ことない学級と	学校事		目指したシンプ			走にとって、学校	が落ち着に				
事		双組みを推進し、い			まるよ	となり、それ	ぞれが活躍で			いくことを確認	,	ナる場所 半 半 関			
業目	う取り組ん	んでいくとともに、子	どもたちー	人ひとりが自?	分の居 手	Oいじめゼロプ ・サミットを受り	ロジェクト ナて各学校でσ	かを出て	みを宝施				T L		
的		つけ、自己有用感を 進する一助とする		感じられる学	交生活 段	・報告書を提出		/ 4X <b>/</b> 1□	いたころ心			4	Ē		
	フィッを推	正 9 る一切こりる	0										1		
T	ジックモ	デル・指標の遺	成度】			<u> </u>									
		①活動アウトプ	ット			結果アウトプット				③中間7'				<b>④最終アウトカ</b> ム	
	A .1124.1.1	(どんな活動を行		1514 045		結果、どうなる		I,		の結果、対象は				、市としてどう	
		ミにおいて、児童生徒がi 旨す取組みとして、「いじぬ				て取組みを行 <sup>、</sup> tき、継続して		М	動が活性化	題に対する児園 トする	直会∙生徒			・重会・生徒会 となった「いじ	が活性化し児め防止の取
	る。 ・2学期に、 /	小学5年生から中学3年生	までの全児童			取組みについ		В		しん。 地域に啓発活動	動を行い、		みが行われ		VP (0)
	よるオンライ	ン会議「いじめゼロサミッサミットで協議したことをも	ト」を開催する	。    域	へ発信しようと	する。		۱Ţ	を支援する	意識が高まる	0			・企業等が子	
		り ミグドで励識したことで これまでの取組みを見直						17					きする恵識か 「構築される。	高まり、いじめ	り防止の体制
ジッ	<b>්</b>												III AC 10 UC		
ク		指標の内容			  績	В	 標	成	指標	の内容		実績	i	E	  標
モデ	※②結	課7ウトプットに対応した 指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R <b>7年</b> 度	最終年度	果	※③中間7寸 煙	かんに対応した指を設定	年度	R5年度	R <b>6年</b> 度		最終年度
	活旧帝出	生徒が主体となっ	目標	215	216		R 年度	世	-	習状況調査で	目標	97.0%	97.0%		R 年度
		め防止の取組み	実績	215	216	_		標	「いじめはどん	しな理由があって 回答した小6と	実績	96.7%	96.5%	_	
	の  指 <sup> が行∤</sup>	つれた学校数	達成率	100.0%	100.0%		_		中3の児童生		達成率	99.7%	99.5%		_
	標		目標				R 年度	TK D			目標				R 年度
			実績					1			実績				
			達成率					j			達成率				
			基本	計画(政策推)	<b>生プラン)</b>							事業費(千円)			
1	事業区分	重	 .点			に関する満足原				令和6年度決	算額(見辺				
			-8-3			び「無回答」を				歳出				2,975	
旅	策コード	再 —			i足」乂は「とち 民の割合)	らかといえば流	6足」と凹答し	た		歳特定				0	
分	野別目標		<b></b> Fらし、元気に輝		R7年度目標値	:80%				入一般				2,975	
<b>—</b>	施策	自ら考え、学び、行動す										予算額		_,3 , 0	
	2071	1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·											

歳出

特定財源

一般財源

2,454

2,454

3,000

3,000

行政運営プラン

取組方針 推進項目

					事務]	事業マネジ	メント	シート	(介	和6	年度実施	分)				
	<b>古</b> ** ** **	スクールソーシャ	ルワーカー	 -活用事業	- 171 ·	<del></del>					つかけ)は何だ					
	事業名												引き続き、国の			
		教育委員会		所管課	教育相談	課	ー 育 · 	子どもが	抱える記が理解が	果題の	)背景は、複染 5に壬を加える	性に絡み合	っており、福祉 くことが求めら	:の専門家でも ゎている	5るスクールソ	ーシャルワー
-	<b>根拠法令</b>	学校教育法施行						ハーなこ	か、味ぬい	ע ניין כי	叫ってを加え、	又1友し しい	くことが、水砂ら	10.00.00		
	開始年度	平成20年度	行政計画	■ 第2次福岡	市教育振興	基本計画										
	事業概要															
		対象として行うのか		, DD DT - 1 - 1 - 1		令和6年度、1		)改善方	策を踏ま	まえ、	目的達成に向	けてどの。	ような方法			:ら事業を見直
対	いじめ・小	登校をはじめとし N保護者	た様々な諸	問題を抱えた		で何を行った		* <u>-                                   </u>	7 <del>+</del> ++	+44 1 — 4	***	+	+107	し(終了)で		0 = #1 3/ =
豕		7 体设计			施	T					可して、子仪を	'基盤にし7	こ文振店		が抱える課題 は今後も必要	
	対象など/	のような状態にした	こしのか		容	○正規職員で	である拠り	点校スク	ールソー	ーシャ					必須である。	CO) / T /
		小の両面から、課		児童生徒の家	庭や事						コー7名+スク					
事業	学校に働	きかけ、不登校な	どの課題解	ル皇工 と 決に向けた支	短た 業	カー70名の合保護者の課題					糸機関と連携	しなから児	皇里生徒や	断基		
十日		交復帰や社会的自			手   日		5W - 1C	1-11/1-2	د ای هرا ۲	J1_0				準		
的					~	•										
T	コジックモ	デル・指標の資	<b>達成度</b> 】													
		①活動アウトフ				結果アウトプット					③中間7				④最終アウトカ	
		(どんな活動を行		75		結果、どうなる		<u>ь</u> —		• -	結果、対象は				、市としてどう	
		くクールソーシャル 応じて配置し、拠 <sub>8</sub>				生活で生じる様。 を基盤にした支援					の改善等によ 、少しずつ登				生徒や保護者 れることで、当	
		ーカー7名 +スクー		担 題角	<b>弾決を図る。</b>				7 5 5	_ C10	、プロテラ亜	IX CC 00	. yı = . v · v ·		、社会的自立	
		3名の合計80名を				切れている家庭々 携しながら、家庭								子どもの未来	をはぐくむこと	:になる。
		∟ながら児童生徒・ けた支援を行う。	や保護者の			環境を改善させる							/			
ツ	ļ		1	, th	<u> </u>		1==		<b>+</b>	北山西	<b>①</b> 中恋			<i>.</i> ±		1.1=
クモ	1	指標の内容 果アウトプットに対応した		実			標				の内容 トカムに対応した・		実	** *	-	標   <u>                                  </u>
デ		指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終生		<u> </u>		を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ル		ルソーシャル	目標	80	80	_	R 年	1			生徒の	目標	65.0%	65.0%		R 年度
		一の配置人数	実績	73	77	_	_	-   [6	<b>復帰</b> 率 ※R6		<b>设值</b>	実績	39.4%	28.9%	_	_
	1百		達成率	91.3%	96.39	6	D #	· ·	(	- C- ZE-	-KIE		60.6%	44.5%		D左曲
	15  スクー	ルソーシャル 一の相談対応件	目標 実績	3,878	3,863	<b>-</b> -	R年	F IS			·	実績				R 年度
		一切相談別心計	達成率	3,676	3,003	-	_	- [ ]				<del></del>				
				-1		-			7				<b></b>			
_	<del>- 416 7</del> 5	T =		計画(政策推進		ルー即士で共口	<b>#</b>			ŀ	^ <del></del>		事業費(千円)			
-	事業区分		点	一	父の教育活男 つからない 1人	かに関する満足 なび「無回答」を	<sup>渂</sup> ·除く回答	そのうち.		ľ	令和6年度決		·額 <i>)</i> ————————————————————————————————————			
挤	施策コード		-8-3		足」又は「どか	ららかといえば	満足」と	回答した			歳出				297,068	
		再一			民の割合)	古.0004					歳特定				96,800	
分	野別目標	一人ひとりが心豊かに暮			R6年度目標(	但:80%				L	入  一般		- At-1-		200,268	
	施策	自ら考え、学び、行動で		[標						ا	前年度決算額				_	
	事業群	心のケア・いじめ・オ	登校等対応								年度		R5		.7	
				行政運営プラ	ン						歳出		253,5	73	361,681	

特定財源

一般財源

94,102

159,471

135,709

225,972

取組方針

					事務事	業マネジ	メントシ	ノート	(令和(	6年度実施	(分)				
	<b>声</b>	スクールカウンセ	ラー活用事	業	3- 100 3					きっかけ)は何					
	事業名											こ対応するため	、3名のスクー	-ルカウンセラ	ーでスタート
	所管局	教育委員会		所管課	教育相談	課		、平成	13年度から	は国の補助金	対象となっ	た。			
	拠法令	学校教育法施行													
-	始年度	平成8年度	行政計画	第2次福岡	市教育振興基	基本計画									
	業概要	· <b>-</b>													
		対象として行うのな		000741651				<b>坎善方</b>	策を踏まえ	、目的達成に向	句けてどの	ような方法			ら事業を見直
対	いじめ・イ	下登校をはじめとした €とその保護者	た様々な諸	問題を抱えた	施	で何を行った		/ <del>+ 17</del>	<i>`.</i> /□ =# +/ , _ +		U. E. T. T.		し(終了)で		~ = #n =
家	儿里工机	とこでの体設力			内	〇課題を抱え ケアを行った。		徒及U	体護者に対	けするカウンセ	リンクを囲	して、心の		が抱える課題 よ今後も必要	
	公会士 じ	かしこれ止能にし	-1. At					-を、小	学校146校	、中学校70校、	高等学校	4校、特別		必須である。	(6)八千木
		であるな状態にした 下登校をはじめとした		題を切った旧	童生 事	支援学校9校	の計229村	とに配記	置した。						
7		保護者に対して、カ			カケア 業								断		
業目		児童生徒の学校復			手								準		
的					段										
7	ジックヨ	Eデル・指標の選	[成度]												
		①活動7ウトフ			2	結果アウトプット				③中間7	'ウトカム			<ul><li>4最終アウトカム</li></ul>	
		(どんな活動を行				<b>結果、どうなる</b>				の結果、対象に				、市としてどう	
		レカウンセラーを、小		~ ,		、て、子どもや保 心のケアを行う		ילינ		支援につなが				生徒の様々な	
		を、高等学校4校、特 校に配置する。	·加又抜子	学	校組織の一員と	こして、専門性を	活かしなか			もの表情がよ 児童生徒が彼		, 00	することで、学 社会的自立に		
	-	X     -     -				ルソーシャルワ・		連携		が増える。	ホペーーサル	以で 豆 牧	はぐくむことに		
ロジ					元里工作// 豆化	メ じらのよう待く	0		7 0 122						
シッ				,				,				,			
2	<b>₩</b> ②¥	指標の内容 語果アウトプットに対応した		実	績	目	標	<del>」</del> 月		<b>見の内容</b> かかに対応した		実	績	E	標
モデ	X 2 m	指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年	及 0		標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ル	活  動 フク-	-ルカウンセラ <b>ー</b>	目標	228	229		R 年		<b>「</b> 不登校児	童生徒の	目標	65.0%	65.0%		R 年度
		配置校(校)	実績	228	229	_	_	村	票 復帰率	- +n /+	実績	39.4%	28.9%	_	_
	指		達成率	100.0%	100.0%			(k	※R6は速	3 辛皮 1 但 	達成率	60.6%	44.5%		
	標 スク-	-ルカウンセラ <b>ー</b>	目標	_			R 年	隻	ò		目標				R 年度
		談対応件数	実績	52,157	53,482	_	_				実績				
			達成率	_	_			)	<u>ر</u>		達成率				
			基本	計画(政策推進								事業費(千円)			
Ę	業区分	重	点			に関する満足		L		令和6年度決	算額(見込	額)			
**	· /-/ 1 ×	主 1	-8-3			び「無回答」を らかといえば				歳出	H H			557,176	
所	策コード	再 —			た」スは「こう 民の割合)	1011.01.0101	M Æ J C IÐ	古した		歳特定	]財源			117,549	
分	野別目標	一人ひとりが心豊かに着	らし、元気に輝		R6年度目標值	<b>1</b> :80%					財源			439,627	
	施策	自ら考え、学び、行動す	- る子ども・若者	指 の育成 標						前年度決算額		予算額			
	事業群	心のケア・いじめ・不	·登校等対応							年月		R5	R	7	
				行政運営プラ	ン					歳出		480,0	099	592,691	
I	双組方針	<b>I</b>							1		財源	109,		203,604	
		_							-1	~~	財源	370,		389,087	

推進項目

一般財源

370,508

389,087

					<b>車</b>	<b>事業マネジ</b>	イント	\$/L	(今紅	Iのを	中宝饭	<b>小</b> )				
		SNSを活用した教	育相談事 3	<u> </u>	于7万寸	F木 マヤノ					<u>F 及 天 心</u> かけ)は何z					
	事業名	1		~						. –			楽に関する当面の	の考え(最終	報告)(文部	科学省)にお
	所管局	教育委員会		所管課	教育相談	======================================	背	いて、「(:	SNSを活用	りした	教育相談は	:)全国展	開を検討すべき <sup>-</sup>	である」とされ	た。周りに相	談することが
	<u>/// 目代</u> 艮拠法 <sup>2</sup>			川日野		<u> </u>		できない	子どもたち	が、	気軽に相談	できる体制	別を整えることは	、教育相談体	本制のさらなる	充実につな
	   始年	•	行政計画	i 第2次福品	司市教育振興			がるもの	と考え、令	和元	年度より、	享入するこ	こととした。			
-	事業概		בוואאוו ב	おこの   田門		£/TH [4]										
		・女』 )を対象として行うの <i>た</i>	)\			令和6年度、	前年度(	の改善方	・	. B	的達成に向	ルナどの	ようた方法	どのような	・ 状能になった	ら事業を見直
		立の小中学校・高等		支援学校、希	望す	で何を行った		74X E 71.	жешьл	L\		117 CC 07	5 J.67J/A	し(終了)す		.クテネでルビ
	る市内	]の私立・国立の小中:				〇周りに相談		ハ児童生	徒達が、気	[軽に	相談できる	よう、SNS			が抱える課題	の早期発見・
	通う児	童生徒			内	活用した相談								早期対応	は今後も必要	
	対象を	どのような状態にした	-いのか		容	見を図った。	\	44 <b>+</b>	5541꾸 H+ C	ııı <del></del> +	□ <del>□ □ + + -   -   -   -   -   -   -   -   -  </del>	8 <del></del> 7 <del></del>		[の継続は	必須である。	
車		相談することができな		ま達が、気軽に	工相談 事	〇福岡市立の 国立の小中学								11		
業		体制を整え、いじめや	不登校等0	の課題の未然		6年4月1日~								ŕ		
目	早期角	6見を図る。			手	み)の期間で	、19時~	-22時の8	寺間帯にす	€施し	た。			<u>E</u>		
的					段	OSNS相談の						SNS相談	の二次元			
						コードを掲載 <sup>-</sup>	すること	で、よりー	-僧の周知	を区	った。					
T	ジック	フモデル・指標の選	を													
		①活動アウトプ	ット			結果アウトプット					③中間7:				④最終アウトカ	
		(どんな活動を行				<b>結果、どう</b> なる					き果、対象は				、市としてどう	
		こ相談できない児童生				ない児童生					とで、児童	生徒のオ			生徒の様々な	
		ごきるようSNS(LINE)を と置する。	:活用し/:作			ま用し、気軽に	-相談で	ごさる	消される	<b>ာ</b>					校へ登校する つながり、子	
				الم ا	うになる。									はぐくむことに		C 000/N/N/E
ロジ								- 17					- 7			
				<b>'</b>				- '					,			
ツク		指標の内容		実	<del></del> 績	目	標	月			内容		実約	į	E	  標
クモ	<b>*</b> (	②結果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R <b>7年</b> 度	最終	年度		アウトカ 旨標を	ムに対応した 設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
デ		岡市こどもSNS相	目標	60.0%	65.0%		R ±	工 しま	不登校児			目標	65.0%	65.0%		R 年度
ル		友だち登録数に対	実績	61.6%	42.7%				■ 小豆攸児   復帰率	里生	.1疋の	実績	39.4%	28.9%	_	
		る相談人数の割合 目談率)(%)	達成率	102.7%	65.7%		_	-	※R6はi	<b>基報</b> 征	1	達成率	60.6%	44.5%		_
	標	3 0 (70)	目標	102.770	00.17%		R ±	E度 K				<del></del> 目標	33.3%	11.0%		R 年度
			実績				- 1	<u>'~</u>	<b>'</b>		-	実績				. 1/2
			達成率					,'	4		-	達成率				
				-1 - <del> / // //-</del> -/-	¥							<b>在</b> 次十	古光書/ブロ)			
_	F ** G7 /	八 <u>壬</u>		計画(政策推進		に関する満足	<del></del>			_	和C左曲站	\$\$\$ \$\$ / P \ 1	事業費(千円)			
-	業区		点			こぼりる河足.び「無回答」を		冬のうち、		Ť	和6年度決		<b>公観</b> )			
旅	策コー	_[*  —	-8-3			らかといえば					歳出				18,593	
		再一			民の割合)	t 000/					歳				5,129	
分	野別目	標 一人ひとりが心豊かに着	らし、元気に輝い		R6年度目標値	<b>1:80%</b>					入  一般!				13,464	
	施策	自ら考え、学び、行動す	る子ども・若者	の育成						前	年度決算額					
	事業群	心のケア・いじめ・不	登校等対応(	の充実							年度		R5	R	7	
				行政運営プラ	<u></u>						歳出		19,20	4	17,920	

特定財源

一般財源

5,935

11,985

6,369

12,835

取組方針 1スマート 迅速で便利なサービスへの転換

②AIやIoTなど先進技術の活用

事務事業マネジメントシート									(令和6	年	度実施分	分)							
放課後等の遊び場づくり事業(わいわい広場)											かた理由(きっかけ)は何か								
	事業名										がわかる、ほ	本力向上、思いや	り深く我慢強くな	る、自分に自信	がつき、好きに				
	 所管局	教育委員会		所管課	放課後こと	も育成課	<b>── 背</b>  なる、情	青緒オ	不安定の解消	肖なる	どの効用があ	る。しかし、	現代の子どもを	取り巻く環境は3	間(時間・空間・	仲間)がない状			
				MIDIN		* KCCC 0 H / K / K							ネり、外遊びや集 ロにつながってい			ている。この様な			
	開始年度	平成15年度	行政計画	■ 第5次福岡	市子ども総合詞						できる場が求る			るとも自力がで	いることから、日	田に女心して入			
	事業概要	1 100.00 1 100	11 WHIE	3,000 min	11.12 040 11		22												
		<u> </u>    対象と  て行うのか				令和6年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けて主にどのような方法 どのような状態になったら事業													
<del></del>	宇施校区(	誰(何)を対象として行うのか 実施校区の小学生					実   で何を行ったのか					Cエにこい	よりな万法	成 (終了)する		0 尹未で兄但し			
外		天心(X) 位の小子工						를 <u>수</u> :	等に運営業務を委託し、助言等を行う運営協議					<b>A</b>		を安全・安心に			
3				会の設置や開						/生日			ができるような						
	計争などの	りような状態にしたし	\D\tau		容											であるため、事			
		ちが自由に遊べる		- 士七 以流が	<del>* * * * * * * * * * * * * * * * * * * </del>		至(一部体育館、					TU 16	\		は必須である。				
事	間や集団	遊びする子どもを増	物で垣です	。よた、外近い	7	事 ③実施校数: 142校(令和6年度末現在)(他、スタッフ派遣型実施 4か所)													
業	0子どもた	たの主体性、社会		、コミュニケーシ	コン能 素	業 ④参加児童数(延べ):391,237人(令和6年度末現在) 手 〇事業の活性化を図るため、人材育成事業や普及・啓発活動を実施 段 (1)プレイワーカー(以下「PW」という。)研修の実施								基					
目的	力が向上で	する。			段									基準					
H.J	4				$\sim$	○ 登録数 129人(令和6年度を				末現在)									
						(2)「子どもの	育成講座 3日間6回、受講者数 60人												
T	コジックモ	デル・指標の達																	
		①活動アウトプ	2	②結果アウトプット				③中間アウトカム					④最終アウトカム						
	(どんな活動を行うのか) (活					舌動の結果、どうなるのか)				(その結果、対象はどうなるのか)					(その結果、市としてどう				
		f、補助員、PWに研修を バイともの遊び」サポー				)必要性、子どもへの適切な関わり方、				・開設について学校・地域等の協力を得て、運営事業者の公募・選定を行い、わいわい広場が新規開設される。					・地域での遊び場に関する市民の満足度(評価)が高まる。				
	し、事業に関	わる人材を育成する。		白名											・子どもたちの主体性、社会性、創造性が向上				
	<b>■・単発実施校</b> ■明する。	での学校・地域・保護者等	発実施校の学校	の学校・地域等への説明により、わい				・子どもたちの遊ぶ場所が確保され、外で遊ぶ時間 や仲間が増える。 ・異学年交流や、主体的な遊びが増える。					する。 ・子どもたちのコミュニケーション能力が向上する。 ・子どもたちの体力や運動能力が向上する。						
	・実施校の学	校・地域・保護者等に、																	
		用について普及啓発を行 も明、市HP、お試しわいれ		n者数が増えるとともに、見守りサポー			・わいわい広場や運営協議会などを介して、学校・地					・地域で子どもを見守り育む機運が高まる。							
ジッ	機会を捉えて	て、わいわい広場の意義	や遊びの効用	またつい ター	·が増える。				域・保護者等のネットワ		ネットワークカ	が形成される。							
ク						_			11-11	<b>=</b> 0.			-						
モデ	※②結り	指標の内容 果アウトプットに対応した指	<b>/</b>	<b>ア</b>		-	標   ■ 線左座			票 <b>の内容</b> ハトカムに対応した指す		<i>f</i> = #=		DC 左左		目標 ■ ■ # 左座			
ル		標を設定のい広場の登録者	年度 目標	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度 R 年度	0		を設		年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度			
			実績	00.702	01.007	- <u> </u>	7 年及	指揮	わいわい広場の実施校		の実施校	目標 実績	145		146	R 年度			
	の数		達成率	20,723	21,827	_	_	標   数	数(派遣型	派遣型含む)		達成率	1 11			_			
	指			_			R 年度	K					100%	100%		R 年度			
	わいわ	い広場の参加者	目標	274.700	201.027		7 年及	P							-	7、平及			
	数		実績	374,762	391,237	_	_	Ш				実績 達成率			-				
H																			
	基本計画(政策推進プラン)         事業区分       重点       地域の遊び場や体験学習の場への評価         施       (地域の小中学生はさまざまな遊びや体験学習を												事業費(千円)						
										令		決算額(見込額)							
l	主						蒸じる、高校生」	以下			歳出				478,434				
		再一		成の	Pをもつ保護者	の割合)	3.0 0 ( )=,  ,, (				歳 特定	<b>表</b> 特定財源			138,457				
5	}野別目標	一人ひとりが心豊かに着	らし、元気に輝	命和6年度目標	値:65%					入 一般財源				339,977					
	施策 自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成 事業群 子どもの体験機会と若者の相談支援の充実									前年	前年度決算額・翌年度予算額								
											年度		R5	F	R7				
	行政運営プラン										歳出		460,	559	518,700				
取組方針 —											歳 特定		144,		160,011				

358,689

316,068

					<b>車</b>	卜(今紅	6年度実施	(分)								
学校規模適正化事業事業名									(きっかけ)は何							
	争耒石				和 都心部	や周辺部の	。周辺部の児童生徒数減少、鉄道沿線や大規模住宅開発地域の児童生徒数増加により、 て学校の規模に偏りが生じており、学校規模に起因する様々な教育課題が生じている。その									
	所管局			所管課	学校計画:	第1課•第2課	<b>月</b>   域によ   景   <sub>ため</sub> :	って字校の∄ エ成21年3 E	「育課題が生し :関する実施プ	こている。その						
	<b>艮拠法令</b>			- 1		<del></del>	き、事	と 進めてし	いる。	hm) (1) 77-43	177077					
-	開始年度		行政計画	第2次福岡	市教育振興	<b>◆本計画</b>										
	<b>事業概</b>		<b>5</b> 5			人和C左击	*/- #.O.1.*			-1.L	I*の L こま	I'O Lit	.11.451-4- A	<b>こま**ナ</b> 日ま		
		を対象として行うのが 模適正化対象校区の		保護者 地區	t 住 民 <b>実</b>	市和10年度、     方法で何を行		力束を踏まる	、目的達成に向	リアで土に		火ル・ノルタートー	状態になつた けるのか	:ら事業を見直		
対象	7 12 ///	(快通正10万) 永快色(		、怀叹古、心	施	施										
					内容	および校舎建築工事を実施した。										
	対象を	どのような状態にした	こいのか		一 谷	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○										
車	「福岡	市立小・中学校の学	₽校規模適I		<b>下施方</b> 事											
業	針」に基	基づき、学校の統合・	分離、通学	区域の変更な	ど、校業											
目	匹の夫  学校規	情に応じた手法によ 模に起因する教育調	り、子仪况1 【題を解決し	臭の適正化を 教育効果の	向上 段	<del>                                    </del>										
的	を図る		NEC 11+1/10													
	** /	<del></del>														
1	コジック	ノモデル・指標の選 ① <b>活動ア</b> ウトフ			<u> </u>	結果アウトプット			<b>Эн. 11. 7</b>	<b>∴∟</b> +/			<b>小里教で</b> 古しま			
		(どんな活動を行				和来!ソアノット 結果、どうなる	のか)	(4	③中間アウトカム ④最終アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) (その結果、市としてどう							
		現模に起因する教育	課題が生じ			正化が図られ			模に起因する		が解決	・学校に対する満足度が向上し、教育効				
		校について、地域・労						する。				果の向上が期				
	議を打 く。	いながら、対応策を植	央訶 * 美行し	. (, )												
	••										7					
ジ						'					,					
ク	N/G	指標の内容		実	<del></del> 績	目	標		標の内容		実	績	E	標		
£	*2	)結果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度		アウトカムに対応した ś標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度		
デル	活业		目標	6	7	7 7 100.0%	R 年度	-	学校における	目標	減少	減少		R 年度		
		<sup>交規模適正化事業 対象校数</sup>	実績	6	7			標小規模	፟፟፟፟ ・過大規模校	実績	16.8%	16.2%	_			
	指	·13/12.9X	達成率	100.0%	100.0%		_	の割合(	離島を除く)	達成率		_	•			
	標		目標				R 年度	P		目標				R 年度		
			実績					Ì		実績						
			達成率					<u> </u>		達成率						
			基本語	計画(政策推進							事業費(千円)					
Į	事業区分	全	<b>基本</b> [点	学	交の教育活動	に関する満足	度のなった。		令和6年度決							
		<b>1</b>		学 <b>施</b> (「ź	交の教育活動 っからない」及	び「無回答」を	除く回答のうち		令和6年度決 歳出	算額(見込			311,316			
	事業区分	<b>1</b>	点	学権 施 (「z 策 「満 成 市	交の教育活動 つからない」及 足」又は「どち 民の割合)	び「無回答」を らかといえば?	度 除く回答のうち 満足」と回答し	2,1	歳出	算額(見込			311,316 141,746			
挤		ド 東 — 1	点 -8-5	学権 施 (「お 策 市 成 市!	交の教育活動 っからない」及 足」又は「どち	び「無回答」を らかといえば?	除く回答のうち		歳特定	算額(見込			·			
挤	<b>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>	ド 東 — 1	点   -8-5     soし、元気に輝	施 (「z	交の教育活動 つからない」及 足」又は「どち 民の割合)	び「無回答」を らかといえば?	除く回答のうち		歳特定	算額(見込 計 財源 財源	額)		141,746			
分	5策⊐一 野別目	ド     主     1       再      1       標     -人ひとりが心豊かに着 自ら考え、学び、行動で	点   -8-5   		交の教育活動 つからない」及 足」又は「どち 民の割合)	び「無回答」を らかといえば?	除く回答のうち		歳 特定入 一般	算額(見込 財源 財源 財源	額)	R	141,746 169,570			
分	5策⊐一 野別目 施策	ド     主     1       再      1       標     -人ひとりが心豊かに着 自ら考え、学び、行動で	点   -8-5   	施 (「z	交の教育活動 つからない」及 足」又は「どち 民の割合) R6年度目標値	び「無回答」を らかといえば?	除く回答のうち		歳 特定 一般 前年度決算客	算額(見込 財源 財源 ・財源 ・翌年度・登	類) 予算額	R	141,746 169,570			
分	5策⊐一 野別目 施策	ド     主     1       再     一       標     一人ひとりが心豊かに着 自ら考え、学び、行動な 教育環境の整備	点   -8-5   	施 (「満 水でいる ・の育成 ・の育成	交の教育活動 つからない」及 足」又は「どち 民の割合) R6年度目標値	び「無回答」を らかといえば?	除く回答のうち		歳日 歳日 大日 前年度決算都 年月 歳日	算額(見込 財源 財源 ・財源 ・翌年度・登	額) 予算額 R5	R	141,746 169,570 <b>7</b>			

事務事業マネジメントシート(令和6年度実施分)																	
	子ども日本語サポートプロジェクト 事業名							事業を始めた理由(きっかけ)は何か 国際化の進展等に伴い、学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒が多くなり、全国で一定の質									
	 所管局	教育委員会		所管課	<b>数</b>	育支援課•学校企画課		が確保	ひれ	た日本語指導を行うこと	<sub>電り</sub> るロ本 ができるよ	品相等が必要 うな制度を整備	は元里工促か 帯し、児童生徒	が、在籍する!	学級におい		
	奶香鸡 <u></u>	学校教育法施行	→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →	床 子权正画际	一景	て、日本	語才	で各教科等の学習活動に	こ参加でき	る能力を身に値	すけることがで	きるよう求めら	れてきた中、				
			行政計画	第2次福岡	市教育振興基本	計画・第2次福間	7			も施行規則の一部が改正 うになったため。	され、日本	語指導につい	て特別の教育	課程を編成・፟	実施すること		
序	開始年度	平成27年度	会人権教育推定	生計画	•	CC 000 /1C-00 /1C/C000											
-	事業概要】 																
	離(何)を対象として行うのか 令和6年度、前年							を 度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けて主にどのような									
対	福岡市立の小・中学校、特別支援学校(小・中学部)で日本														<b>立</b> 上		
涿	四月十八	必要な儿童工匠			内	〇日本語指導 〇日本語指導			(全:	学校拠点校方式へ)			見増加してお	算が必要な児 30 多言語・3			
	計争なじ	のような状態にした	110h		容	〇拠点校会議	, JSL	.日本語	指導	研究会での指導・助言			直対応として	、継続が必要	0		
				k語での学習に	取り事	〇日本語指導			研修				L				
事業	いち早く日本の学校生活になじみ、日本語での学習に取り 組めるようになる。																
目	組めるようになる。																
目的								ごスの活	用			準					
													$\leq$				
正	ジックモ	デル・指標の達	【成度】									•					
	①活動アウトプット ②結果アウトプット									③中間7:				④最終7ウトカム			
	(どんな活動を行うのか) <ul><li>・日本語サポートセンターのコーディネーターが、日本語指導が必要な児童生徒と保護者、</li><li>・福岡市内のすべての小・中学校支援学校(小・中学部)で、初期指</li></ul>							<b>州</b> 共 見山	۱	(その結果、対象は				、市としてどう			
										・対象児童生徒が、いちはやく日本の学   ・個に応じた指導・支援が充実し、福岡校生活になじみ、日本語での学習に取り   内の児童生徒の確かな学力の向上か							
	学校との面談を行う。 ・日本語指導担当教員配置校での日本語指導を行うことができる。 導を行う。							じ日本		組めるようになる。							
  ジ	守てコノ	•							1								
ツ		指標の内容		実	绘	目標		成		指標の内容		実	结	目標			
クモ		結果アウトプットに対応した	- 年度	R5年度	™ R6年度	R7年度	最終年度			※③中間アウトカムに対応した指	年度	R5年度	R6年度	<u></u> R <b>7年</b> 度	最終年度		
モデ	活	指標を設定	 目標	7	7	八十皮			<u>の</u>	標を設定		100.0%	100.0%	八十尺	R 年度		
ル	動日本語	語指導担当教員研 の開催回数	実績	7	7	_ }	IX ·		指揮	児童生徒一人ひとりに 応じた指導目標の達成	実績	100.0%	100.0%		八十段		
			<b>達成率</b> 100.0%       100.0%	,			_	— I	1/J	率	達成率	100.0%	100.0%	=	_		
	拍 標					R 年度 K	K		<del></del> 目標	100.070	100.0%		R 年度				
			実績					1 /2	P	-	実績				12		
			達成率					,		-	達成率						
H				計画(政策推進	<b>ミプラン)</b>							事業費(千円)					
耳	基本計画(政策推進プラン)         事業区分       重点       在住外国人の住みやすさ評価									 令和6年度決算							
		1						ば住み	や	歳出		цд/		59,966			
施	策コード		<u> </u>			外国人の割合〕 :現状維持(95		- を維持`	)	歳				13,035			
分	野別目標		<b>ー  </b> のモデル都市と <sup>1</sup>	なっている果	10 十 及 口 标 他	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<i>,</i> 0%1	- C 小仕1寸/	,	入 一般			46,931				
//	施策	アジアをはじめ世界の人に		指 指						前年度決算額		算額		.5,551			
			標								<del>7</del> IN	Т	-				

歳出

特定財源

一般財源

47,798

9,586

38,212

67,312

22,437

44,875

行政運営プラン

取組方針 1スマート 迅速で便利なサービスへの転換

②AIやIoTなど先進技術の活用